

会 議 録

会 議 の 名 称	令和5年度第1回新座市文化財保護審議委員会
開 催 日 時	令和5年6月29日(木) 午前・ 午後 1時15分から 午前・ 午後 3時まで
開 催 場 所	新座市役所本庁舎5階 第2委員会室
出 席 委 員	根岸茂夫、岩崎信丈、宮瀧交二、本間暁、柳正博、松竹寛山
事 務 局 職 員	教育総務部長 齋藤寿美子 教育総務部副部長 金子啓一 歴史民俗資料館長兼学芸員 川端真実 歴史民俗資料館・文化財係長兼学芸員 川畑隼人 同館主任兼学芸員 笹川紗希 同館主事補兼学芸員 高橋美希
会 議 内 容	1 開会 2 挨拶 3 議題 (1) 委員長及び委員長職務代理の選出について (2) 令和4年度文化財関係事業報告について (3) 令和5年度文化財関係事業計画について (4) 指定候補文化財について (5) その他 4 閉会
会 議 資 料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 名簿 ・ 次第 ・ 令和4年度文化財関係事業報告…資料1 ・ 令和5年度文化財関係事業計画…資料2 ・ 指定候補文化財一覧…資料3 ・ 陣屋堀測量調査平断面図 ・ 新座駅南口第2土地区画整理事業による整備地 ・ 歴史民俗資料館所管 当初予算【参考】 ・ れきしてらす通信 第1号
公開・非公開の別	① 公開 2 一部公開 3 非公開 (傍聴者 1人)
欠 席 委 員	-

審 議 の 内 容 (審議経過、結論等)

1 開会

2 挨拶 (齋藤部長)

3 議題

(1) 委員長及び委員長職務代理の選出について

<審議内容>

事務局:皆様からご推薦などがあれば承りたいと思うが、いかがか。

委員:差し支えなければ今までどおり、委員長を根岸委員、委員長職務代理を岩崎委員にお願いしたい。

<審議結果>

一同了承

(2) 令和4年度文化財関係事業報告について

資料1及び区画整理整備地の資料(野火止用水関連)に基づき、事務局が説明する。

<審議内容>

委員:歴史民俗資料館は4月からどれくらいの入館者数か。

事務局:昨日までの時点で1,881名、約2,000人の方が来館している。

事務局:第5次新座市総合計画の中で、年間1万人という目標を掲げている。今後、季節によって変動はあるが、団体・小学校など、多く訪れることを見込むと、目標に近く、比較的良いペースで進んでいる。

委員:歴史民俗資料館について、入りづらい等いろいろ感じることもあるが、皆はどのようにお考えか。

委員:複合施設のメリットを今後十分にいかし、保健センターと連携をしてほしい。器ができたことはめでたい。

平林寺とタイアップの企画等をするかは学芸員次第かと思う。そういう場ができたことは大変すばらしく、ぜひ私たちも応援したいと思っている。展示については、今後いろいろな引き出しを見せてほしい。

委員:例えば、平林寺にもお力添えを頂き、特別限定公開のように短期間で、普段見せないような文化財を見せていただくのはどうか。平林寺がお持ちの貴重な資料や文化財も特別公開していただけたらと思う。

委員:普段は貴重な資料を絶対見せない。ただ、限定して見てもらうのはいいかと思う。睡足軒同様そのように思っている。施設に大きなスペースがないので、企画で勝負していただければと思う。

委員:保健センターとの複合施設ということで、来る人の目的がちよっと違うかと思うが、そういう意味では全国的でも珍しい組合せで、注目するところではある。

委員:武州里神楽と大和田囃子に補助金が出ているが、練習生は何人ぐらいいるか。人数の把握はしていないのか。補助金を出しているだけか。

事務局:名簿はもらっていない。

委員:人数が少ない団体に補助金を出しているだけでは意味がない。出すなら一つの条件か何かがないと、何のために補助金がかかっているのか、把握しておかないといけないのではないか。また、歴民はPRの仕方が下手ではないかと思う。例えば、庁舎内に記者クラブがあるので、こちらから発信をした方がよい。受けるだけではな

く、発信していくことも必要ではないか。立派な歴民ができたのに限られた学校の子供しか現状を見ていない。離れた学校は行っておらず、そういうところの対策も一つ考えておいた方がよい。学校側も新座のPR、子供たちに関心をもってもらうような雰囲気ができつつある。それらをうまく利用して高校も含めてイベント等情報を発信するのがよい。

事務局：無形文化財の補助について、人数ははっきりとした資料がなくて申し訳ないが、年間行事と年間の活動報告は頂いている。

PR について、パンフレットを活用し、関連団体に配って引き続き、校長会等を通じて話をする。

委員：JCOM を使用するのはいかがでしょうか。

事務局：JCOM は4月の開館早々に取材に来ていただいた。

他にも地域のラジオ局に何回か出演し、広報、ホームページで情報発信を行っているが、御意見のとおり、まだまだ不足していると理解している。今後もイベントなどを予定している中で、記者クラブへの情報提供やできる PR は積極的に行い、まず知ってもらえるよう取組を積極的に進めていこうと思っている。

委員：無形文化財の事業であれば、将来どうなるのか心配、だからこそ人数を聞いている。今ここで結論を出す必要はないと思うが、しばらくかかるのか、少し考えていただきたい。どう育てていくのかは大事な問題であり、文化財と指定している以上はしっかりと考えていくべきである。もう一つ、新座の歴史がわからないということで、せつかく資料館ができたのなら、新座市の歴史を一つ一つ紐解いていこうという方針を決めたらどうだ。

委員：新座市の歴史をきちんとわかりやすく、伝えられるような発信をしていく方向性を決めてもらいたい。一つの歴史だったら歴史というのを決めて、こういう時期がありました、こういった時期がありましたと、きちんと新座の歴史を知ってもらおうという方針のもとで、進めていってほしいと思っている。

委員：学校では、地元を知りたいという気持ちがあるため、こちらから発信した方がよい。どの地方も高齢化でお祭りがなくなっている。

委員：小学校3年生頃から、郷土の歴史を社会科で習うと思う。小学校5・6年生あたりに必ず、教育委員会が配布する冊子を歴民中心にもう1度作り直し、それに合わせて展示を構成したり、年間のイベントを考えたりすべき。教育委員会を挙げて一度企画をこの機会に考えてみてはどうか。

委員：人を呼ぶイベントと学ぶイベントを分けるべきである。

委員：市史とかいろいろ資料としては作られているとは思いますが、今後それらをかみ砕いて、学校現場や今見られるものとの関係を作るなど、今後出てきてよいと思う。

委員：無形文化財の補助金で、中野獅子舞が休止中とある。これは後継者がいないからか。中野では人はいても、獅子舞と直接関わりのある人が少ないのか。小さい頃から関わり、伝えていく必要性があるのでは。

委員：無形文化財も学校と連携できれば良い。

委員：各小学校のクラブ活動の一つに郷土芸能を入れるなどしてみてはどうか。

委員：間に合うのであれば、急いだ方がよい。

事務局：中野獅子舞は、地域内にこだわりが強く現在休止中である。

委員：以前、半僧坊大祭でも雅楽隊は長男だけという規制があったが、今はそれを廃止した。

委員：区画整理事業地の野火止用水の整備について、現状どうなっているのかははっきりしておく必要がある。

委員：県に連絡はしているのか。過去に国指定で原状回復が求められた例がある。しっ

かり調整した方がいい。

事務局：写真の下層部分、今あるものよりも下に昔は野火止用水が流れていた。整備を担当した部署は表面であれば問題ないだろうと判断し、事前に教育委員会への相談がなく施工してしまった。

委員：この問題は議員から聞いた。その後、ボランティア団体から電話があり、現場を見に行ったがコンクリートが流されていた。新座市は野火止用水をPRしているのに、なぜこのようなことをしたのか。8月にこの件について、議員が出席する委員会がある。文化財保護審議委員会がこの件について、個々の意見を述べるのは良くないため、本委員会としての方向性を決める必要があるのではないか。また、野火止用水保存活用計画のミスが多い。

委員：配っただけで終わりにせず、きちんと活用すべきである。

委員長：早い時期に第2回の会議をやるべきだ。野火止用水については、次回以降話し合うべきである。次回、資料1を改めて作成し直し、会議を行う。どれも非常に貴重な意見だと思う。事務局は出た意見をまとめ、今後の計画に反映させる方向性をとっていただければと思う。

<審議結果>

一同了承

(3) 令和5年度文化財関係事業報告について

(4) 指定候補文化財について

(5) その他

<審議内容>

<審議結果>

次回に持ち越し

4 閉会